

一筆奉啓上候、時下追々暖

和之砌ニ御座候処、先以

上々様益御機嫌能被遊

御座恐悦至極ニ奉存候、

次ニ各様愈御壮健ニ而御勤

役被成御座奉拝賀候、

陳ハ此頃当笠松県ヨリ直

家来并地役人士籍之義

御糺シニ相成候間、私義も罷

出御伺奉申上候処、御手前義

者東京ニ

(三三 淵 難 之 助)

御主人様御座候得者、東京ニ而

人別御書上ニ相成候得者、当

県ニ於テ者御控有之住居之

義ハ東京歟可然と被申候間、

当地ニ住居仕居ニ就而者、

御主人様より笠松県知事

長谷部甚平様江当分住居

之義御頼ミ之御書被下置  
候様奉願上候、誠ニ以御繁  
用之处御面倒ニ御座候得共、  
呉々も御願奉申上候、尤  
右之義昨年八月貴君様  
御立寄之節御頼ミ申上  
置候処ニ御座候間、専一御頼  
申上候、且  
御遺拝御拝領御座候、

天正元年

一久昌院前和州太守玉海宗広禅定門

天保十四癸卯年

一栄樹院殿從五位下  
行土佐守正繁徳叟日杲大居士

四月廿日 御拝領ハ父理右衛門

天保七丙申年

一本岳院殿正敏好学日新大居士

九月十日

一細川様御寿像御座候

右様往古より御座候、左候得者

過去・現世之 主従と日夜

深奉感戴居候間、何卒

行末迄も御懇命被成下

置候様偏ニ奉懇願候、且又

乍御面倒

細川様江御序之節

御寿像之儀御届ケ被成下候

様呉々も是又奉願上候、私義も

御届ケ申上度心組ニ御座候間、

宜御願奉申上候、先ハ右御願

迄如此ニ御座候、

恐惶謹言、

三月 鈴木六太夫（黒印）

同 重郎（黒印）

山本勢左衛門様

山本錦治郎様

貴下

副啓前書之通り士籍之義

奥山様ニ而福嶋氏始説田

長輔方家内中・説田久之助

家内中・小澤弥次兵衛家内

中右四軒書上ニ相成候間、

此段御察之程伏而奉願上候、

四拾四歳 六太夫

嘉永六丑年正月当国本巢 三拾七歳 妻ゆう

郡牛牧村説田清四郎娘

娶

明治二己年九月同国安八 式拾一歳 伴重郎

郡豊喰村中嶋民之丞弟

養子二来ル

拾五歳 女子はるよ

拾三歳 同いくゑ

右之通ニ御座候間、其御筋江

御届ケ之程奉願上候、将又

御附札写別紙差上申候得共、定而

御承知と者恐察候、此段不悪

御承引可被下候、早々頓首、